

CCNet 春日井局 第 60 回放送番組審議会議事録

1. 日時 2024 年 3 月 26 日(火) 11:00~13:00
2. 場所 CCNet 春日井局
3. 出席者 <委 員> 山田 真平 (春日井商工会議所専務理事)
石田 見子 (あさひ文庫代表) ※委任状
松田 照美 (かすがい女性連盟役員理事)
勝 伸博 (春日井市企画政策部長)
三輪 洋一郎 (小牧商工会議所 中小企業相談所次長)
笹原 浩史 (小牧市市長公室長)
奥村 好樹 (犬山商工会議所 専務理事)
森岡 万朱衣 (犬山市婦人会連絡協議会会長) ※委任状
井出 修平 (犬山市経営部長) ※委任状
稲葉 弘夫 (扶桑町商工会事務局長)
兼松 和彦 (扶桑町総務部長)
佐藤 幹広 (大口町総務部長) ※委任状
平岡 寿弘 (大口町商工会事務局長)

<事務局> 荒谷 善紀 (春日井局長)
片山 誠司 (春日井局制作G長)
高橋 克弥 (春日井局制作G)
石須 志 (春日井局制作G)
4. 議事 (1) 放送番組基準の改訂について
(2) 2023年度の制作番組実績報告について
(3) 自主番組の内容検討について

5. 要旨

議事(1) 放送番組基準の改訂について

2024年4月1日に改訂される放送番組基準の改定内容について説明。

【ご意見・ご質問】

なし

議事(2) 2023年度の制作番組実績報告について

2023年度の放送番組、番組内容、地域別取材本数について説明。

【ご意見・ご感想】

- ・春日井市は議会中継をやっていないのか委員からの要望で取り上げていただける可能性はあるか。

→(事務局)以前提案は行ったが、現在は実施していない。要望があれば検討していく。

議事(3) 自主制作番組の内容検討について

試写①『ウィークリーこまき こまき楽の湯でSDGs 柿フェア』

(2024年1月13日～放送)

(概要) 小牧市の天然温泉「楽の湯」で行われているSDGsの取り組みをキャスターが出演し紹介。

【ご意見・ご感想】

- ・柿が余った量に対してこの取り組みでどれくらい使用できたのかが気になった。
- ・お風呂だけではなく食品としても使用されていたので安心した。

試写②『ウィークリーにわぐん 【特集】守口大根ほりほり体験』

(2024年2月17日～放送)

(概要) 扶桑町で行われた収穫した大根の長さを競う「守口大根ほりほり体験」にキャスターが参加、イベントの様子をレポートした。

【ご意見・ご感想】

- ・守口大根の長さが非常にわかりやすく伝わった。
- ・今回見た中で一番楽しいなと思った番組、映像的に守口大根の長さがわかりやすかった。
- ・難しい漢字にはルビが必要なのでは
- ・守口大根を取材してもらってありがとうございました。
視聴者である一方、情報を提供する立場でもあるので、自分の中であまりフィルターをかけず、色々な情報を提供していきたい。
- ・守口大根がどういうものなのか説明がないので知っている人はわかるが、知らない人はわからない部分があった。短時間で色々説明するのは難しいと思うが、限られた時間の中で全く知らない人が見てもわかるような構成にして欲しい。

試写③『ウィークリーにわぐん 〈森キャスターも参加！〉モルック体験教室』

(2024年3月2日～放送)

(概要) 大口町ではじめて行われたモルックの体験教室にキャスターが参加し、モルックについて紹介。

【ご意見・ご感想】

- ・モルックを今回初めて知った。字幕なども使っており、ルールがとても丁寧に説明されていて、モルックの紹介としては成功している番組だなと思った。
- ・屋内で映像が暗いため、雰囲気も暗い印象を受けたため、明るくできる撮影方法があればいいなと感じた。番組の作りとしてはとても面白い。
- ・若干テロップが小さいかなという所もあったが、配色を考えて見やすくして頂いていたので良かった。

試写④『夢を奏でるクラフトビール バタフライブルワリー』（2023年4月16日～放送）
（概要）春日井市のクラフトビール専門店で密着したドキュメンタリー番組
「ケーブルフェスタ 2023 自主制作番組コンテスト」において準優秀賞を受賞

【ご意見・ご感想】

- ・取材を重ね、入谷さん目線の映像も織り込まれており、ドキュメンタリーだということが伝わった。改めて感動した。
CCNet はこうした番組もつくれるという一つの武器になって欲しい。
- ・『人生の楽園』という番組を思い出した。本人が何歳なのか、ビールづくりを始めるといふ思い切った決断をしたきっかけなど、入谷さん自身に関する掘り下げがもう少し欲しかった。
- ・ビールの成長と子どもの成長の二本立てでよくストーリーが組まれていた。単に製造過程を追うだけではなく、こうした人の生き様などをとらえたものは視聴者にうけるのでは。
- ・ビール製造だけではなくお店でコンサートも開いているという新たな取り組みをしている場所を取材したのは良い着眼点。後悔しない人生を送ろうというご主人のメッセージが感じられてよかった。
- ・最後の画像で、左右をぼかしたような加工をしていたが、何か意図があったのか？
→(事務局)スマートフォンのサイズの画像だったため、空白を埋めるためエフェクトをかけた。
→(委員)エフェクトが気になってしまったので、なくても良いのではないかと思った。
- ・制作した作品が賞を取るというのは作る側としても張り合いがあるので良いのではないかと思った。

その他

- ・今後番組が「見やすさ」「聞きやすさ」を重要視されている中でケーブルテレビはどう変わっていくのか。
- ・番組の編成は多く視聴されている時間帯や視聴している年齢層などのデータを見たうえで組まれているのか？
→(事務局)春日井局では19時～の視聴率が高い。岐阜のエリアなどでは朝の視聴が多いが春日井局では少ない傾向。9時から10時台になると視聴が増えてくるので関心度が高いグルメ番組などを編成。
→(委員)ゴールデンタイムに観る人が多いのは意外だった。視聴者が多い世代に興味を持ってもらえる内容の番組を制作していけばいいのではないかと思う。
- ・市内で人材不足が深刻になってきている。市外から小牧市の高校に入学してもらって、その後の小牧市内の就職に繋がればよいと考えている。そのため市内の学校の特色などを紹介して生徒が集まってくるような番組の制作を検討してほしい。

以上